
友の会通信

洋学の歴史を楽しく学ぶ
津山洋学資料館友の会

2022 November No.13



史跡見学会 城西浪漫館（旧中島病院本館）（2ページに関連記事）

CONTENTS

第35回史跡見学会報告

津山城下の史跡を訪ねて（城西編） 2

友の会のあゆみ ㊟ 3

記念誌を刊行・配布しました

冬季企画展を開催します 4

オムニバス講演会を開催します

薬草の小径から ㊿

編集後記

津山城下の史跡を訪ねて(城西編)

会員 牧野 泰浩

10月29日(土)、友の会の史跡見学会に参加しました。爽やかな秋晴れの下、歩いて城西地区の史跡を巡りました。

まず、本町3丁目の岸三省堂の店舗を訪ねました。岸田吟香が揮毫した三省堂の扁額が店頭に掲げられていました。店内を拝見し、伝統の



泰安寺の宇田川家墓所



岸三省堂さんでお話をお伺いしました。



知新館(平沼家旧宅)

コース：岸三省堂 岸田吟香揮毫の扁額(本町三丁目) → 泰安寺 宇田川家三代墓所(西寺町) → 長安寺 久原家墓所(西寺町) → 寿光寺 野上家墓所(西寺町) → 翁橋 → 城西浪漫館(旧中島病院本館)(田町) → 知新館(平沼家旧宅)(南新座)

あるお店の様子がうかがわれました。次に、西寺町にある宇田川家三代墓所の泰安寺、久原家墓所の長安禅寺、野上家墓所の寿光寺をお参りしました。墓石を前にして、先人達の業績や遺徳に思いを巡らせました。泰安寺では、宇田川家三代の墓が浅草誓願寺から多磨霊園を経て現在の位置に移された経緯を聞き、煤けた墓石そのものに深い歴史を感じる事ができました。

続いて、江戸時代、たもとに西の大番所が置かれていた翁橋に立ち寄りしました。近年の調査で昭和の初期の煉瓦舗装の遺構が発見され、土木遺産に認定されたとのことでした。そして、田町の旧中島病院本館を見学しまし

た。池田豊太郎の手掛けた建物で国の登録有形文化財です。階段の手すりや暖炉などから大正時代の雰囲気を感じることができました。現在は城西浪漫館としてカフェやギャラリーがあり、別の機会に「榕菴珈琲」を味わいに訪れたいと思いました。

最後に、南新座の平沼家旧宅(知新館)に立ち寄りしました。残念ながら武家屋敷を再現した建物の中の見学はできませんでしたが、門前で津山郷土館時代のお話など聞くことができました。

半日のフィードバックでしたが、多くのことを学ばせていただきました。洋学資料館の皆様、ご案内ありがとうございました。



解説板除幕式の様子

友の会創立 40 周年を記念して
未来に向けて記録に残しておきたい
～あんな出来事・こんな出来事～

友の会のあゆみ ⑨

「友の会のあゆみ」ではこれまで「宇田川家墓所移転」（7号）、「箕作家墓所整備」（10号）、「久原躬弦胸像修復」（11号）などの墓所や史跡の整備について振り返ってきました。今回は、友の会が靱保町内会などと協力して行った「仁木永祐顕彰碑修復事業」についてお話を伺いました。

小林圭子編集委員 津山市靱保の丘陵に高さ4メートル程もある大きな石碑があります。この石碑は、江戸後期から明治時代にかけて、この地で医療や教育、政治に尽力した医師、仁木永祐を顕彰するために門人や地域の人々によって建立されたものです。今回は、この石碑の整備事業についてお尋ねしたいと思います。

下山純正顧問 新館が建設される2年前の冬、石碑がある靱保の公会堂に講演に行ったのです。講演終了後、町内会長や老人クラブの会長から「仁木永祐石碑の解説板を作りたいと思っているのだがどうしたらいいだろうか？」と相談されたことがあります。

渡部紀子編集委員 どんなアドバイスをされたのですか？現在ある立派な解説板がどのようにして設置されたのでしょうか？

下山 「史跡整備として市で実施してほしいと陳情してもなかなか話が進まない」とのことでした。私の経験から「2年後に仁木永祐生誕180年の節目になるから、ひとまずそれまで待ったほうがいいだろう」と伝えてその日は帰りました。すると2年後、ちゃんと覚えておられて再度相談されたわけ



修復作業の様子

です。

渡部 待ちに待っておられたのですね。

下山 そこで、以前友の会で整備した林田山根の箕作家墓所にある解説板の仕様を勧めました。

小林 でも、整備には資金が必要ですよ。どうされたんですか？

下山 そうですね。事業を行うにはやはりお金がかかります。そのため、友の会創立30周年記念事業として位置づけ、整備の実行委員会を組織して中島病院の中島壮太先生に代表になっていただきました。他にも靱保町内会や仁木家後裔、市民からも募金をお願いしたんです。当初は解説板設置だけの計

画でしたが、募金額が予定の倍額に達したため、石碑本体や周辺を含めて整備することにしました。石碑の玉垣を解体して改修し、さびた鉄柵もステンレス製に交換、案内標柱も立てました。

渡部 地元の方々にとっては二年越しの願いが叶って嬉しかったでしょうね。

下山 靱保の方々には大変喜んでいただきました。こういうことは友の会だけで行うのは良くないと思うのです。地元の皆さんが中心になってやるべきで、その方が自分

記念誌を刊行・配布しました

友の会創立40周年記念誌『40年のあゆみ』を9月末に刊行し、10月上旬に会員の皆さまへ配布しました。B5判全120頁で、創立から30周年までは年表形式、31周年から40周年までは写真を多用して詳しく紹介しています。懐かしい思い出を振り返ると共に今後の活動の参考にしていただければ幸いです。



今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

たちが関わったという思いが残り、今後の整備にも熱が入るのです。除幕式の賑わいは凄かったです。餅つきはやるは、焼きそばなどの屋台も出て、みんなで石碑の前で車座になり一杯やって、大変喜んで頂きました。いい思い出です。

小林 この対談も今回で最後となりました。最後にひとことお願いします。
下山 洋学資料館というのは市の施設ですから自由な動きは取りづらいものです。ところが友の会があることで「料理の会」や史跡整備までできる。史跡整備は本来、文化財行政の担当なのですが、宇田川家の墓を改葬し、箕作家の墓や仁木家の石碑を整備し、京都大学まで行って久原躬弦の胸像を直し、ライデン事業に便乗してオランダまで行って顕彰したり。本当にすばらしい会だと思っています。

これまでに市内の洋学関連の史跡はほとんど整備できたと思います。友の会が関わることで人の繋がりがもどんと増えていますよね。一発花火で終わるのではなく様々に波及し継続しています。
 時折、靱保の顕彰碑を訪ねていますが、あの時植樹された木々は大きく成長し、以前は道路から石

碑が見えていたのに、今では見えづらくなりました。石碑の前に立っていると、除幕式のあの賑わいが昨日のこのようによみがえってきますね。友の会が今後どんな活動をしていくのかを楽しみにしています。

小林 友の会創立40周年記念として記憶に残しておきたい貴重なお話を伺ってきましたが、無事、対談も今回で最後となりました。本当にありがとうございます。

除幕式の参加者全員で記念撮影



冬季企画展を開催します

12月3日(土) から冬季企画展「鶴田藩医能勢家資料展〜維新の荒波を越えた漢方医の生涯〜」を開催します。長州戦争のため浜田から美作へ移住した藩医能勢道仙が、どのように激動の幕末維新时期を乗り越えたのかをご紹介します。会期は来年2月19日(日)までです。お誘いあわせてぜひご覧ください。

オムニバス講演会を開催します

1月29日(日)午後1時30分からオムニバス講演会(職員による研究報告会)「洋学あれこれ」を開催します。定員は40名で、先着順で令和5年1月14日(土)から受付を開始します。ぜひご来場ください!

薬草の小径から 10



ツクブキ(石路) キク科
 日本、朝鮮半島、中国、台湾を原産とする多年草。生薬名はタクゴといいます。「津和野」の地名の由来は「ツクブキの里」だと言われています。

編集後記

『友の会創立40周年 未来に向けて記録に残しておきたい』あんな出来事・こんな出来事・友の会のあゆみ』の連載が今回で最後となりました。無事に40周年記念誌も発行でき、役員一同安堵の気持ちでいっぱいです。

この数年は、目に見えないコロナ感染症に翻弄され、友の会活動も自粛・中止を余儀なくされてきました。三密を避けた方法として徒歩による史跡見学会を三年連続で開催し、先月行われた『津山城下の史跡を訪ねて(城西編)』で完結しました。さあ来春は何処に足をのびしましょうか!? 楽しみです。

通常の活動が再開されることを願い、益々健康に気をつけて良い年を迎えましょう。(K)

津山洋学資料館友の会通信 第12号

令和4年11月
 編集・発行
 津山洋学資料館友の会
 事務局 〒708-0833
 津山市西新町5
 津山洋学資料館内
 ☎ 0868-23-3324